

体育施設等指定管理者ミズノグループの評価 【評価委員総括表】

目的：地域住民の心身の健全な発達及び体育・レクリエーションの普及振興を図る

評価日：令和元年7月1日

評価対象期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		評価視点	評点
1	施設の活性化	・利用者に対して、有益で魅力的な施設等の提供（岐南町総合体育館・岐南町町民運動場・岐南町スポーツセンター・岐南町防災コミュニティーセンター） ①施設の利便性を向上させる取組みが、適切にされているか ②利用促進を図る広報・ホームページ・チラシ等、幅広いPRがされているか	4.0点
		・創意工夫に満ちた新規自主事業の実施がされているか ・利用者のニーズにあった幅広い自主事業が、実施されているか	4.0点
2	サービス向上	・窓口・電話等での接遇・案内等は、適正に行われているか ・利用者からの意見を、可能な範囲で施設の管理運営に反映させているか ・利用者に適切なサービス提供をしうる職員の配置・勤務体制となっているか ・個人情報保護について、法令遵守されているか	3.4点
3	施設設備の点検・維持管理	・施設設備を安全に運用するための点検・維持管理は、適正に行われているか	3.2点
4	管理経費の効率化	・施設管理に係る経費の効率化が図られているか	4.0点
合 計 点			18.6点
総括評価（優：20.0点～17.1点 良：17.0点～12.1点 可：12.0点～7.1点 不可：7.0点～5.0点）			優

評価委員会の意見

- 年度全体で収支を黒字化させたことは高く評価できる。
- 自主事業の収支の改善により一定の収益を確保できたことはとりわけ評価できる。
- 利用者増に努めたことで、利用料金が前年度を上回ったことも、評価できる。今後は、減免措置の見直しを進め、利用料収入の増加を図るなどして工夫してほしい。
- 職員配置等については、サービス水準を低下させることなく工夫を重ねてほしい。
- 住民ニーズ等を敏感に反映させた自主事業を今後もより一層工夫し、積極的に町民にアピールしてほしい。また、物販事業ももっとアピールした方がいい。
- 休館日の設定や施設の貸出の弾力化、利用料金の減免のあり方などについて、町民の利便性向上と指定管理者の経営基盤強化の為、町当局と検討を進めてほしい。
- 町の所有する公共施設を管理運営する指定管理者には、安定継続して活動できる基盤を確立することが求められる。更なる合理化をすすめ、黒字化が継続されることを期待する。（委託料を見直す余地があると思われるので、町当局と検討を進めてほしい。）
- 体育館の草がなくなり、花を入れてくださったことで施設の美化が保たれた。トイレの点検も行き届いていて良い。
- 全体に苦情のない運営ですばらしい。